

イメージングフロンティアセンター特別セミナー

2017年1月18日(水) 13:10-14:30

野田キャンパス計算科学研究センター4階大会議室

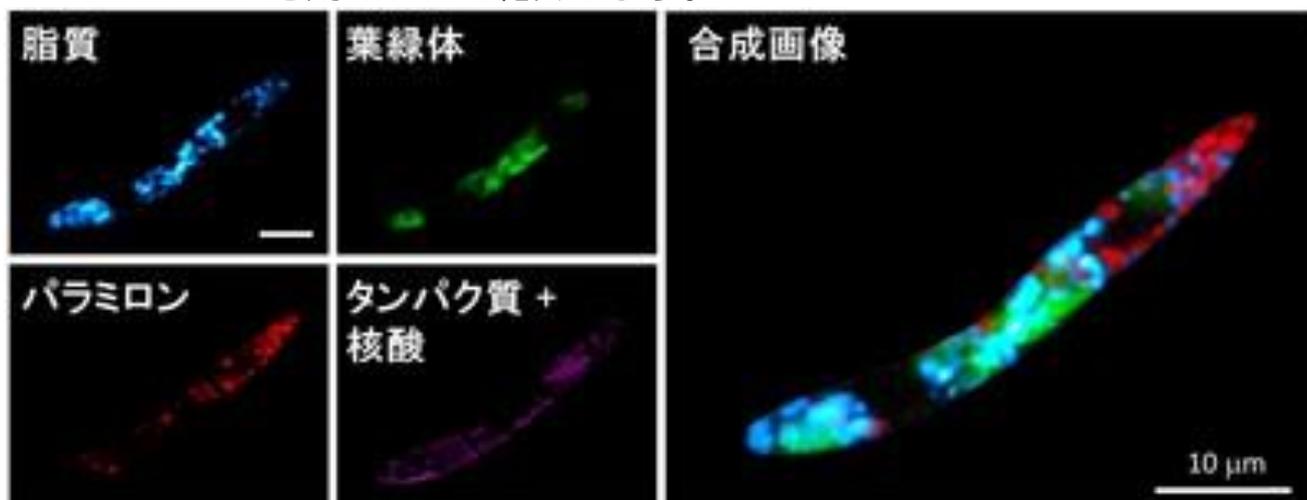
講師: 小関 泰之 准教授

(東京大学工学系研究科)

「誘導ラマン顕微鏡
による生体の無標識観察」



われわれはものを見るとき、その色や形で見分けています。このため、生体に含まれる透明な分子を見分けるのは困難です。透明な分子の性質を、別の形の「色」として見せてくれる現象にラマン効果があります。ラマン効果を使うと、物質の分子振動の情報を使って、透明な試料をマルチカラーで可視化することができます。従来、ラマン効果は発生効率が低く、その検出には長い時間がかかっていました。我々は、光パルスを用いてラマン効果を効率良く発生させることで、透明な生体をリアルタイムで可視化する、誘導ラマン顕微鏡の開発を進めてきました。本講演では、誘導ラマン顕微鏡の原理・特長と無標識生体イメージングへの応用について紹介します。



主催: 東京理科大学イメージングフロンティアセンター

世話人: 朽津 和幸 (理工学部応用生物科学科)